

## 平成12年度第1回清掃審議会記録

日 時	平成12年7月17日(月)午後1時30分～4時
場 所	区役所西棟6階 第5・第6会議室
出席者	藤井会長、前田職務代理、大高委員、大橋委員、小川委員、小澤委員、柏原委員、くれまつ委員、鈴木委員、内藤委員、松原委員、本橋委員  区長、環境清掃部長、清掃管理課長、リサイクル清掃課長、西清掃事務所長、東清掃事務所長、清掃事業所長
欠席者	石川委員、小池委員、吉田委員
議 題	会長の選出 職務代理の指名 清掃事業についての考えに関する自由討議 条例及び清掃行政の現状に関する説明 今後のスケジュール
発言要旨	別紙のとおり

第1回清掃審議会発言要旨

平成12年7月17日(月)

発言者	発言要旨
	<p>区長のあいさつ(省略)</p> <p>委員の自己紹介(省略)</p> <p>環境清掃部長のあいさつ(省略)</p> <p>会長の選出及び職務代理の指名(省略)</p>
会長	<p>清掃事業についての考えやこの会議でぜひ議論してほしいこと、議論の枠組み、この会のあり方、この会の方向性について意見をいただきたい。</p>
委員	<p>いろいろと騒がれている一般家庭ごみの有料化について、杉並区独自の回答を出してはどうか。環境審議会などと清掃審議会との違いを明確に打ち出していきたい。</p>
委員	<p>放置自転車もごみなのではないか。</p>
委員	<p>ある程度、何かテーマごとに審議をしていったらどうか。この審議会の役割は何か。</p>
会長	<p>この審議会の役割と責務について、事務局からコメントをいただきたい。</p>
清掃管理課長	<p>環境審議会は清掃も含めたもう少し大きなものがテーマになる。清掃審議会では清掃の計画、有料化の具体的な検討、プラスチック類の処理、収集の方法等について審議していただく。</p>
委員	<p>毎回テーマを決めてやるのがいいのではないか。</p>
委員	<p>条例の中で区側が求めているものを整理するというタイプの審議会にするのか、あるいは、いろいろな意味で最初から審議会として勉強して具体的に区に求めるベースを整理し、その中から区側の施策として選べるものがあれば、それを具体化するというタイプの審議会にするのか。行政の情報を審議会に出してもらえれば、おのずから杉並区のこれからの清掃事業のあり方というのがでてくる。事務局は、今日話したことから取捨選択して、適切な情報や資料を提供していただきたい。</p>
委員	<p>区長から諮問は出るのか。</p>

発言者	発言要旨
清掃管理課長	今日の討議をふまえて次回ぐらいには出したい。
会長	これからは、ごみの問題は行政だけで全てやれというのが現実には無理である。このように市民参加の形をとらざるをえないし、それが望ましいと行政側も考えている。この審議会は一応答申案は出ると思うが、途中で修正しても構わないし、時間の割き具合とか、納得のし具合に応じて、議論をそのまま置いておいて最後に結論を出すという形でもいい。皆さんが主体になってこの議論を進めていきたい。コミュニケーションをするためにはお互いの信頼感がないとできないし、情報公開がうんとされてないとできない。この審議会は今までのような行政が全部容易したシナリオを我々がやるということではない。
委員	基本目標のひとつの区民、事業者、行政の協働による発生・排出抑制について、非常に大きな議論ができると思う。私たち区民一人ひとりが取り組むべき課題というものが、ここだからこそ出てくるものがある。しくみをつくるのは区だが、そこに提言をできたらいい。中継所周辺問題も抱えているので、早急に取り組まなければならない課題である。
会長	排出抑制が一番大きな課題のひとつだと思う。多くの可能性について是非議論したい。
委員	こういう審議をする場合は、同じ土台の上で議論を進めることが大事である。基本計画がどうなっているのかということ、まずみんなが押さえなければいけない。
会長	区への清掃事業移管の話と、もうすでに出ている基本計画について、区側として今までどういう方針でいたのか、区移管をどういうふうに見受けとめているのかという話し合いを次回にやりたい。
委員	まず最低限の共通理解をした上で、審議会の話し合いに入っていたきたい。ごみの排出の問題は、区民皆さんの協力なくしてはできないこと。こういういろいろの立場の方々がいるのだから、忌憚のない意見を出し合って、相手の立場を理解しながら話を進めたい。この審議会のニュースを、多くの方たちに知らせることができるよう手立てを考えていきたい。
会長	基本的に議事録は公開される。聞きに来なさいというのではなく、少し積極的に配ったらということについては、次回に、事務局からどう受けとめたかということをお聞きしたい。 それでは、次に、杉並区廃棄物の処理及び再利用に関する条例、清掃行政の現状等の説明をお願いしたい。  （清掃管理課長から資料について説明）

発言者	発言要旨
会長	一般廃棄物処理基本計画が、われわれ審議会にとってどういう意味をもつのかをうかがいたい。審議会はここにある範囲のことをこえて議論してはいけないのか。
西清掃事務所長	この一般廃棄物処理基本計画は、東京スリムプラン 21 の内容を基本的に継承している。清掃事業の移管を受けたあとに区民の皆さんの意見を取り入れた、あらためて杉並らしい一般廃棄物処理基本計画をつくる必要があるので、これから審議会の所掌事項になってくる。
会長	23 年までの長期計画ではあるが、これは暫定的なものであり、この審議会で議論して違う結論なのであれば、これを塗りなおしてもいい。
委員	ごみの問題は大きく 2 つに分かれる。1 つはごみを減らすということ。もうひとつは、ごみをどういうふうに処理するのかということ。これらはだいぶ違うのではないか。どちらか一方について検討するのか、あるいはその両方なのか。両方だと膨大ではないのか。
会長	このふたつは可分ではなくて、分けられない問題だと思う。ごみの発生抑制については、できる限りいろいろな情報を集めてたくさん議論したい。
委員	リサイクルも資源化も減量化も、それぞれ、行政側の最終処分場がなくなっているからという投げかけ方ではなくて、本質的にごみをどうしたらいいのか、ごみの増量はどういう影響があるかということを考えるのがこの審議会ではないか。
会長	実質的に今までの問題を洗いざらい出すということでもいいのではないか。
委員	産業廃棄物と一般廃棄物の分け方についても議論させていただきたい。
会長	他区の問題というか、杉並だけで全部できないという制約条件があるので、その制約条件をどこまで認めるのかという議論がある。
委員	一般家庭の声についてお届けしたい。
委員	工業の立場では、生産量が上がれば当然ごみも増える。一住民としては、また違うことがいろいろと考えられると思う。
委員	町内会では集積所の問題がいろいろ起きている。
会長	本日はこれで終了する。

## 清掃審議会委員名簿

(敬称略)

氏名	職、所属団体等
大高 一夫	東京商工会議所杉並支部
大橋 とも子	杉並リサイクル協会
小澤 千鶴子	消費者グループ連絡会
柏原 良光	杉並区商店会連合会
小池 京子	杉並区東清掃協力会
鈴木 美智代	杉並区立小学校 P T A 連合協議会
内藤 祐作	(財) 杉並正用記念財団
松原 清治	杉並産業協会
本橋 又蔵	杉並区西清掃協力会
小川 宗次郎	杉並区議会議員
くれまつ 幸代	杉並区議会議員
吉田 武	杉並区議会議員
石川 雅紀	東京水産大学 水産学部助教授
藤井 美文	文教大学 国際学部教授
前田 了介	前杉並清掃工場長

印：会長、 印：職務代理

任期：平成 12 年 7 月 17 日～14 年 7 月 16 日